

がん患者とその家族への寄り添い

「生涯でがんになるリスクは男性 54%、女性 41%」（国立がん研究センター）と言われています。

進歩するがん治療は人々に希望を与えていますが、告知と治療は、当事者や家族に負担や苦痛を投げかけます。

この講座では、いかにがんと向き合っていくか、どのように節を活かして生きていけば良いのかを共に考え、おたすけに役立てます。

期 間：立教 178(平成 27)年 4 月 26 日（日）・27 日（月）

会 場：おやさとやかた南右第 2 棟 3 階

日 程：裏面参照

対 象：ようぼく

定 員：40 名

受講御供：1,500 円

携 行 品：筆記具

締 切 日：4 月 15 日（水）

下記の申込事項をご記入の上、ひのきしんスクール事務局までお申し込み下さい。

申込事項

- ①受講希望講座名
- ②氏名 / ふりがな
- ③〒 / 住所
- ④電話番号
- ⑤生年月日
- ⑥性別
- ⑦直属・所属教会名

申込方法

- ・Eメール ・ホームページ
- ・FAX ・郵送<はがき・封書>
- ※電話での申し込みはお断りしています。

お申し込み下さった方には、締め切り翌日以降に「ご案内（開催日程・会場図など）」を郵送します。

※定員になり次第、受付を終了しますので予めご了承下さい。

ひのきしんスクール事務局

〒632-8501 天理市三島町 271
 TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7266
 Eメール h-sc@tenrikyo.jp

ひのきしんスクール

検索

携帯電話
QRコード



<http://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/>

日程表

| 1 日目 (26 日) | | 2 日目 (27 日) | |
|-------------|--|-------------|--|
| 13:00 | | 8:50 | |
| | 受付 | | 集合 |
| 13:30 | | 9:00 | |
| | 開講・オリエンテーション | | 体験談① 「がんと共に ～本当のたすかり～」 布野 真理 氏 |
| 13:50 | | 9:30 | |
| | 「ひのきしんとは」 山本 元嗣 (ひのきしんスクール運営委員) | | 体験談② 「“病気がたすかる” から “病気でたすかる” へ」 井筒 正孝 氏 |
| 14:10 | 休憩 | 10:15 | 休憩 |
| 14:20 | | 10:30 | |
| | 講義① 「がんって、どんな病気？」 久須美 房子 氏 | | パネルディスカッション 「傾聴、そしておたすけと支援」 【パネリスト】 松尾 理代 氏 (登壇順) 布野 真理 氏 井筒 正孝 氏 【司 会】 飯 降 多 鶴 (ひのきしんスクール運営委員) |
| 15:35 | 休憩 | 12:00 | 閉講 |
| 15:45 | | | |
| | 講義② 「患者、家族と寄り添うには」 松尾 理代 氏 | | |
| 17:00 | 解散 | | |

講師紹介 (登壇順)

| | |
|--------------------------|---|
| く す み ふ さ こ 久須美 房子 氏 | 「憩の家」緩和ケアセンター長、消化器内科副部長兼任。疼痛等緩和ケア対策チームリーダーとして院内の多職種メンバーと協働し、入院患者の緩和ケアについて主治医チームへの支援・相談にあたる。また、県内外の医療者と連携して、がん診断時からの緩和ケア普及のための環境整備・教育支援に取り組んでいる。 |
| ま つ お み ち よ 松尾 理代 氏 | 「憩の家」がん相談支援センター看護師長、緩和ケア認定看護師、ひのきしんスクール研究員。緩和ケアチームの一員として、がんに伴うつらい症状や悩みの緩和に尽力すると共に、がん相談支援センターでは患者や家族からの身体・心・暮らしなどに関する様々な相談に応じている。 |
| ふ の ま さ み ち 布野 真理 氏 | 音江分教会長。昨年、父親が肺がんを発症。5ヶ月にわたる闘病生活を家族全員で支え合った。そのときの体験と、お道の信仰に対する悟りについてお話しいただく。 |
| い つ つ ま さ た か 井筒 正孝 氏 | 黒石分教会前会長、布教部講演講師。自らが、がんの身上のご守護をいただかれた体験を持つ。その身上をいただくことにより、おたすけ活動がどのように深まったのか。ご自身の身上についての悟り、おたすけに活かす方法をお話しいただく。 |

※「憩の家」…天理よろづ相談所病院